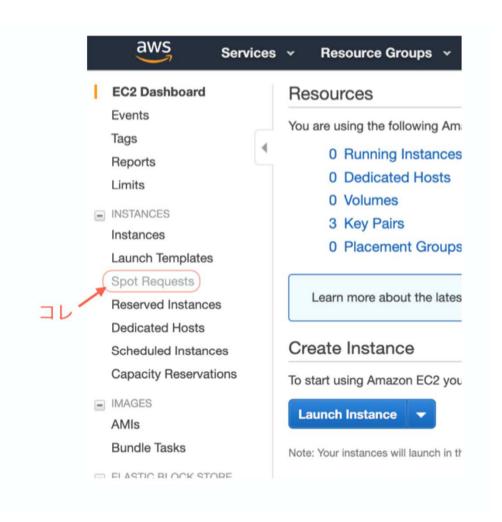
スポットリクエストを使ってみ よう

①左上のサービスボタンを押しましょう



- ②コンピューティングにあるEC2を選びま しょう
- ③左のEC2ダッシュボードにあるスポット リクエストを押しましょう(右図を参考)
- ④上の方にあるスポットインスタンスのリクエストボタンを押しましょう



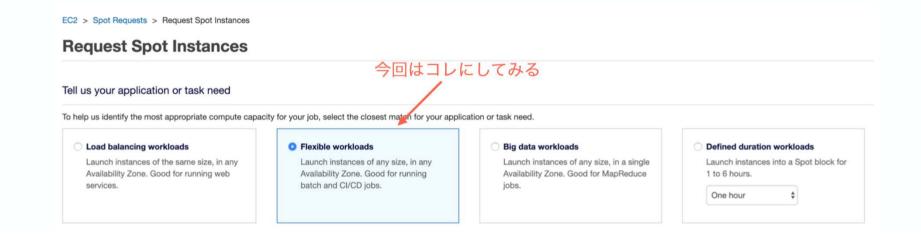


アプリケーションまたはタスクの選択

一番右にある**Defined duration workloads**は1~6時間のあいだは中断することなく継続して実行されます。他はスポット市場価格が入札額を超えたときは自動的に終了されます。

*一番右は入札額がやや高め

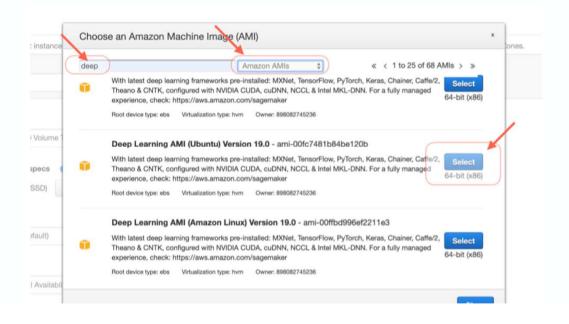
https://cloudonaut.io/3-simple-ways-of-saving-up-to-90-of-ec2-costs/



AMIの選択

- ①「カスタムAMIを使う」ボタンを押す
- カスタム AMI を使う

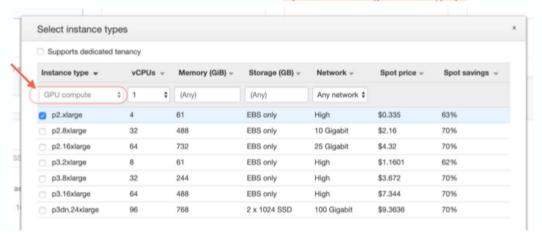
- ②検索窓に「deep」と入力
- ③プルダウンメニューからAmazon AMIを選択して検索
- ④検索結果から「Deep Learning AMI(Ubuntu) Version **」を「選択」(versionは現在19.0あたり)して、「閉じる」を押す
- * 「Deep Learning Base AMI」を選ばないように注意!



インスタンスタイプの選択

- ①「インスタンスタイプの変更」ボタンを押す インスタンスタイプの変更 ②インスタンスタイプのプルダウンから「GPU Compute」を選び、検
- 索
- ③「p2.xlarge」にチェックを入れて「選択」

**p2インスタンスのGPUはGoogle Colabと同じTesla K80 https://aws.am.azon.com/jp/ec2/instance-types/p2/



キーペアの選択

①キーペア名にある「新しいキーペア名」ボタンを押す



②別ウィンドウが立ち上がるので、上の方にある「キーペアの作成」ボタンを押す Create Key Pair

- ③キーペアの作成ウィンドウが起動したら、キーペア名(任意)を入力して「作成」ボタンを押す
- ④ローカルにキーペアがダウンロードされるので、保存する(後で使います)



フリートリクエストの設定

- ①推奨事項の適用のチェックボックスを外す □ Apply recommendations
- ②上で選択したインスタンスタイプ「p2.xlarge」以外は削除する
- ③これで設定終了。ページ一番下の「開始」ボタンを押して以下のような画面が立ち上がったら「OK」を押す



スポットリクエストの状態をチェック

状態が「active」になればリクエストが通っています

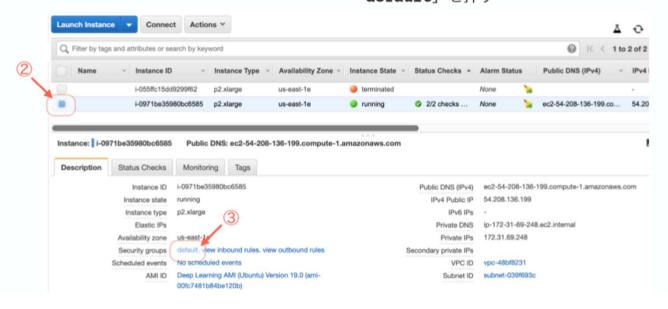
*スポットリクエストの状態はこちらを参考ください

https://docs.aws.amazon.com/AWSEC2/latest/UserGuide/spot-fleet-requests.html



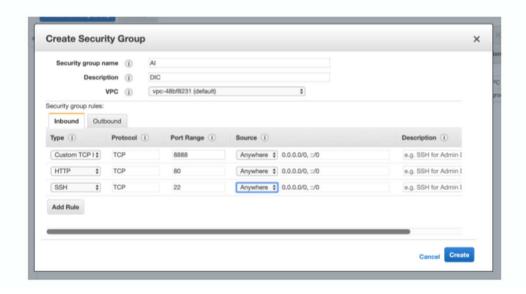
インスタンスの設定

- ①画面左側のEC2ダッシュボードからインスタンスを選択
- ②以下の画面に切り替わったら、借りたインスタンスIDの左側のラジオボタンをオンにする
- ③インスタンスの説明の中にあるセキュリティグループの「**default**」を押す



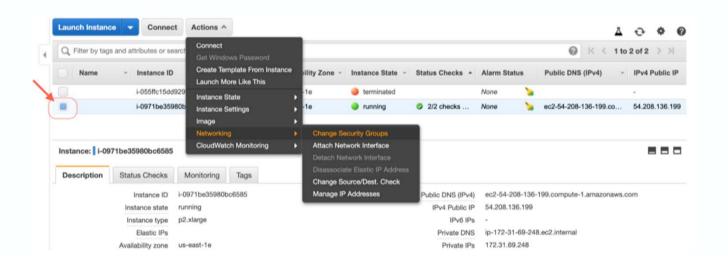
セキュリティグループの作成

- ①上の「セキュリティグループの作成」ボタンを押す Create Security Group
- ②以下の画面が立ち上がったら、セキュリティグループ名と説明 を入力
- ③インバウンドで「ルールの追加」を押し、以下のように設定し (アウトバウンドの方は全てのトラフィックと表示されていれば ox)、「作成」ボタンを押す



セキュリティグループの選択

- ①再びEC2ダッシュボードからインスタンスに戻る
- ②先ほどと同じインスタンスIDのラジオボタンをオンにする
- ③上のアクションボタンを押し、**ネットワーキング** → **セキュリティグループの変更**を選ぶ
- ④セキュリティグループ一覧が立ち上がるので、先ほど作成したセキュリティグループを選択する(それ以外のdefaultのチェックボックスは外す)



SSH接続の準備

①インスタンスの説明の右側にある**パブリックDNS(IPv4)**の内容をコピー ②ローカルのメモ帳にペーストし、その先頭に以下の赤字の表記を追加する (***はキーペア名)

ssh -i ***.pem -L 8157:127.0.0.1:8888 ubuntu@ec2-54-208-136-199.compute-1.amazonaws.com



SSH接続の開始

- ①ターミナルを起動し、***.pem (キーペア) を保存したディレクトリまで移動
- ②chmod 400 ***.pem を実行(このキーペアに対しては今回だけ実行すれば良い)
- ③先ほどメモ帳上で作成したssh -i ***.pem -L 8157:127.0.0.1:8888

ubuntu@ec2-54-208-136-199.compute-1.amazonaws.comを実行

④yes/noを尋ねられたら、yesと入力する。以下が実行され、プロンプトが ubuntu@~に変わっていればssh接続完了

The actions into a 'wall-action and 'wal

仮想環境の選択

①仮想環境一覧(ターミナルを上へ遡ると表示されている)から任意の環境を選択して実行(_p36がついたものを選ぶ)。今回はsource activate tensorflow_p36をコピーして実行②pip install --upgrade pipを求められたらこれも実行

sudo apt-get install language-pack-UTF-8
 or
sudo locale-gen UTF-8

To see all available language packs, run: apt-cache search "^language-pack-[a-z][a-z]\$"

To disable this message for all users, run: sudo touch /var/lib/cloud/instance/locale-check.skip

ubuntu@ip-172-31-69-248:~\$ source activate tensorflow_p36



jupiter notebookの立ち上げ

- ①jupyter notebookとコマンドを打つ (実行)
- ②ターミナルに表示されたtoken= 以下の文字列をコピー
- ③http://127.0.0.1:8157 (Mac) を開く

token= 以下の文字列

Copy/paste this URL into your browser when you connect for the first time, to login with a token:

http://localhost:8888/?token=aca9701a4a34b674bd529a6133f34e814c463ca72a34a20f&token=aca9701a4a34b674bd529a6133f34e814c463ca72a34a20f

[23:31:54.406 NotebookApp] Starting initial scan of virtual environments...

23:32:50.619 NotebookApp] Found new kernels in environments: conda_cntk_p27, conda_amazonei_mxnet_p36, conda_caffe_p35, conda_theano_p36, conda_saffe2_p27, conda_mxnet_p36, conda_mxnet_p27, con

jupiter notebookの立ち上げ

- ①以下の画面のボックスに先ほどの文字列をペーストする
- ②ログインを押し、jupyter notebookのホームに画面が切り替われば接続成功です

